



# 小地域ネットワーク活動は 「まさか」に備えた 「いつも」を支えます

キット、ひとがつなげる  
きつと、地域がつながる

## キットの配付はきずなの第一歩

「キットを配りに来た」という言葉は見守り訪問や関わるきっかけになります。

きずな安心キットを持つことは自分を守ることにつながり、きずなづくり台帳を整備することは地域が手助けを必要とする人を知ることにつながります。

## 「気づき」から「支え合い」に

日頃からのつながりがあるからこそ分かるちょっとした変化への気づきは、地域で暮らす人同士が支え合うために大切なこと。

将来、自分が助けを必要とした時に安心して暮らせる地域を、今のうちからつくりませんか。

## 地域住民の声

年齢で足腰も弱くなり、なにかあった時頼ることも多くなっていますが、地域が私のことを知ってくれているということがとても心強く、これからもこの地域で暮らしていきたいと思っています。(80代 女性)

## 町内会役員の声

全国的に大規模な災害というものが身近になってきている中、よりきめの細かい地域福祉活動が必要だと感じています。

ただ配って終わりではなく、その後どのような活動につなげるかがこの活動の本質ではないでしょうか。(70代 男性)

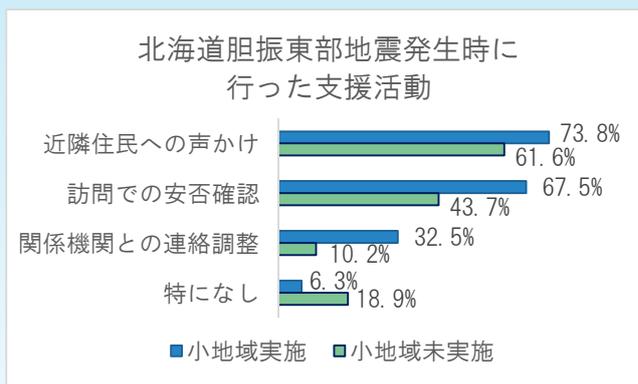
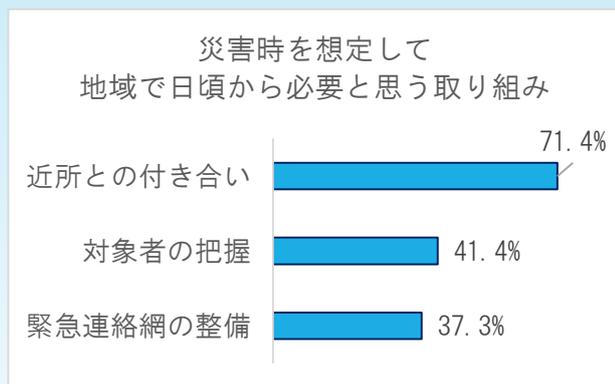
小地域ネットワーク活動は

## 「災害時や緊急時を想定した日頃からの支え合い活動」です

平成 24 年 11 月の暴風雪による大規模停電の教訓を踏まえ、登別市連合町内会・登別市民生委員児童委員協議会・登別市・登別市社会福祉協議会が協働して全市に広げる活動です。

きずな安心キットときずなづくり台帳の配付をきっかけに平常時から要支援者の情報把握・共有を行い、町内会や隣近所（小地域）での見守りや支え合い活動を展開するものです。

### Point 日頃の活動は、災害時に大きな効果を発揮します



登別市内の福祉活動実践者へのアンケートにより、小地域ネットワーク活動の重要性や実施の有無による災害時の対応の差などが明らかになりました。

アンケート出典：登別市社会福祉協議会「北海道胆振東部地震時の福祉活動に関するアンケート調査」、平成 30 年 11 月 27 日(火)～12 月 13 日(木)

### Check よくある質問やご意見

Q. キットを配ったけどそのあとどうすればいいのかわからない



A. 社協にご相談ください！

地域の状況は様々で現状に適した活動も様々です。今の状況からさらにステップアップできるように会議への出席や課題の整理などお手伝いします。



Q. 一緒に活動する人がいないから活動できない

A. 社協にご相談ください！！

町内会や民生委員・児童委員等との調整や説明会の実施など地域に活動が根付き、継続するようお手伝いします。



Q. 避難行動要支援者名簿をどう活用すればいいのかわからない

A. 名簿に登録されている方は地域の手助けを必要としている方です。名簿を見て地域の状況を改めて見つめてみるのはいかがでしょうか？

具体的な活動は社協にご相談ください！！！！



社会福祉法人 登別市社会福祉協議会  
登別市片倉町 6-9-1 しんた 21 内 ☎ 0143-88-0860

この事業は、共同募金の支援を受け実施しています